

富士大学研究者情報

経済学部経営法学科

教授

竹村 修一郎

たけむら しゅういちろう

研究者基本情報

生 年	昭和29年（1954年）
最終学歴	東北大学大学院経済学研究科経営学専攻博士後期課程単位取得退学
取得学位	修士（経済学）
学位取得年月	昭和58（1983）年3月（修士）
出身地	宮城県
専門分野	会計学、監査論
担当科目	監査論Ⅰ・Ⅱ、財務諸表論Ⅰ・Ⅱ、原価計算論Ⅰ・Ⅱ、財務管理論、管理会計論、専門演習Ⅰ・Ⅱ
所属学会	東北経営・会計研究会、東北経済学会、日本経営情報学会、日本監査研究学会、日本会計研究学会
長期研究テーマ	・ 予防監査論の確立 ・ 「会計判断」の操作的モデルの確立
短期研究テーマ	・ IT（情報処理技術）の進展と会計の枠組みの再検討
1年以内に発表予定の研究業績	・ 「現代企業の会計事情とモニタリング機能」（予定）、（『富士大学紀要』）

研究業績（2018年3月末日現在）

【論文】

1	「わが国の経営管理組織における計数管理機能の実態調査 一中間報告一」(共)『経済学』(東北大学経済学会研究年報)第45巻第1号、1983年6月、95-126頁。
2	「独立性概念の意味と構造」『経済学』(東北大学経済学会研究年報)第49巻第2号、1987年8月、117-134頁。
3	「SECのEDGARシステムについて」『富士大学学術研究会報』第31号、1987年12月、11-13頁。
4	「「独立性概念」の一省察」『富士大学紀要』第21巻第2号、1990年2月、21-31頁。
5	「「内部統制概念」に関する一考察」『富士大学紀要』第23巻第2号、1991年3月、31-48頁。
6	「会計教育と会計目的」『富士大学学術研究会報』第45号、1994年8月、8-9頁。
7	「財務諸表監査における監査基準の今日的意義 一米国における監査基準の成立事情を手掛かりにして一」『富士大学紀要』第28巻第2号、1996年2月、81-94頁。

8	「財務会計理論における社会的厚生機能の展開 —エイジェンシー理論を手掛かりにして—」『富士大学紀要』第29巻第3号、1997年3月、89-101頁。
---	--

【学会発表】

1	「「内部統制概念」に関する一考察 —SAS第55号を中心として—」日本会計研究学会東北部会兼東北経営・会計学会報告、1991年6月。
2	「記念座談会・会計学ランダム・ウォーク —上村教授に聞く—」『経済学』（東北大学経済学研究年報）、1993年6月。
3	富士大学開放講座 「企業をどう評価するか —割引現在価値概念と資金の時間管理の必要性—」富士大学、岩手県教育委員会共催、2001年11月。

【教職歴】

1	岩手県立盛岡短期大学 非常勤講師（1991年4月～1998年3月）
2	岩手県立大学 盛岡短期大学部 非常勤講師（1998年4月～2013年3月）

【内外における公開講座等の講師】

1	【講演】「内部統制の強化と企業価値の向上」 2008年8月
2	【講演】「不正対応監査と内部統制—職業的懐疑心の保持の重要性を指摘しつつ」 2009年8月
3	【講演】「新内部統制概念の制度化について—企業活動の健全性・信頼性の維持・向上のために」 2009年10月

【社会的活動】

1	公益財団法人日本高等教育評価機構評価員（2013年10月～2019年9月）
2	名取市閑上地区土地区画整理事業審議会委員（2016年4月～2021年3月）
3	東北経済学会評議員（2001年4月～現在）,東北経済学会監事（2005年4月～現在）
4	岩手県JA 中央会 監査審査会 審査委員（2008年4月～2010年3月）